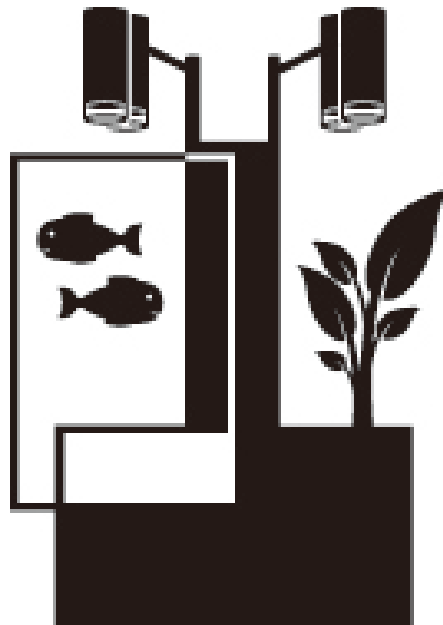


brioTM

35

取扱説明書



 この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

この度は、brio35 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

brio35 がお届けするアクアポニックスの世界をお楽しみください。

エコフレンドリーをテーマとして開発された brio35 は、水循環システムを取り入れたエレガントで機能的なデザインのアクアポニックスです。

この取扱説明書をご使用前に必ずお読みになり、本製品組立時、メンテナンス、使用時には説明書に従い正しく安全にご使用ください。誤った使い方をされた場合などには大切な魚が死んでしまったり、本製品が故障する恐れがあります。

取扱説明書と保証書は大切に保管してください。

もくじ

1 はじめに

安全上のご注意	2～5
使用上のお願い	5
付属品の確認	6
各部の名称	6

2 設置・組立方法

ベースボックス	7
ポンプ	7
ガラス水槽	7
オーバーフローパイプ	8
水槽内バスケット	8
コラム	8
フィルター	9
プランツバスケット	9
排出口カバー	10
上部カップ	10
水槽用蓋	10
バンブーカバー	10

3 始動方法

ハイドロコーン	11
ソイルと水の投入	11～12
植物のセット	12
ポンプ電源 / 始動確認	13

4 ライトタイマー

時刻を設定する	14
タイマーを設定する	14
手動点灯・消灯	15

5 お手入れ方法

排出口のお手入れ	16
上部カップとコラム 上部のお手入れ	16
サイフォン内の お手入れ	17
粗目スポンジとフィルター のお手入れ	17
ポンプのお手入れ	18
水槽内のお手入れ	18

6 電球を脱着する

電球を取り付ける	19
電球を取り外す	19

7 困ったときは

困ったときは	20～21
--------	-------

8 仕様

仕様	22
----	----

9 別売アクセサリ



別売アクセサリ一覧	22
-----------	----

10 保証について

保証について	23
保証書	24

安全上のご注意 必ずお読みください

■ 表示の説明







表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される内容および物的損害 ^{※3} のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさしています。


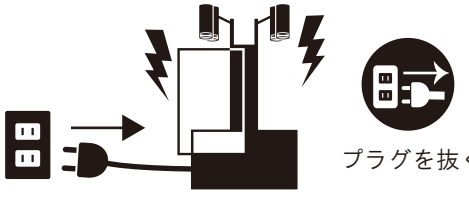

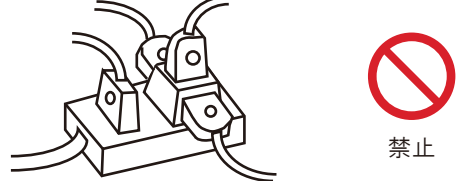

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	“  ”は、 禁止 （してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“  ”は、 指示 する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“  ”は、 注意 を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

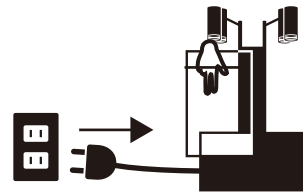
 警告	
<p>■ 煙が出ている、異臭や音がするときは、 すぐに全ての電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>異常のまま使用すると、火災や故障の原因となります。 煙が出なくなる、異臭や音がしないことを確認して販売店までご連絡ください。</p>	 <p style="text-align: right;">プラグを抜く</p>
<p>■ 電源コンセントは、必ず水滴だまりを設けて、 水滴がコンセントに流れ込まないようにする</p> <p>電源プラグに水滴が付着していないか定期的に点検してください。放置するとサビや火災、漏電事故の原因になります。</p>	 <p style="text-align: right;">指示</p>
<p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V(50/60Hz)以外では使用しない</p> <p>たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。</p>	 <p style="text-align: right;">禁止</p>
<p>■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	 <p style="text-align: right;">ぬれ手禁止</p>

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

⚠ 警告

■ 水の入った水槽に手を入れる際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

■ 設置が完了した後に製品や電気コード、プラグが濡れていたり水漏れが確認された場合は電源プラグを差し込まない

すでに電源プラグが差し込まれているときは、電源プラグを抜かずにブレーカーを落としてください。火災や感電、故障の原因となることがあります。



禁止

■ 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、乾いた布で拭いて取り除く

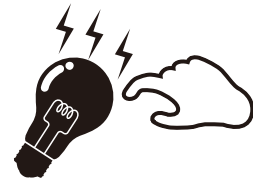
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。定期的に（年に1度程度）清掃してください。



指示

■ 通電中や通電停止直後のライトの電球を直接触らない

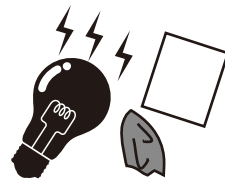
やけどや火災の原因になります。



接触禁止

■ 通電中や通電停止直後の電球の側に紙や布など燃えやすいものを置かない

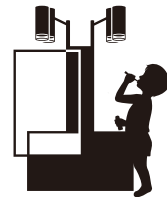
やけどや火災の原因になります。



禁止

■ 点灯中のLEDライトを直接見ない

視力を損なう恐れがあります。



直視禁止

■ 屋外で使用しない

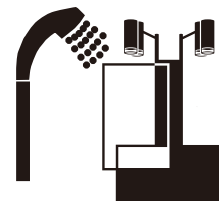
内部に異物が入る可能性があり、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

■ 水まわり（風呂、シャワー室）など湿度が高い場所で使用しない

火災・感電の原因となります。



禁止

■ 温度の高い場所や零下になる場所に置かない

直射日光が当たる場所や熱器具の近くなどに設置されると、火災・感電の原因となります。また、破損、その他部品の劣化や変形・変色など、悪い影響を与えますのでご注意ください。



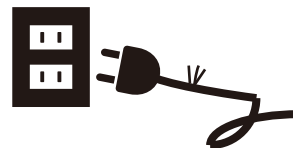
禁止

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

⚠ 警告

■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたり、加熱したりしない

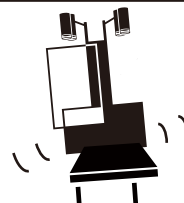
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）弊社まで
ご相談ください。※保証期間は1年です。



禁止

■ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

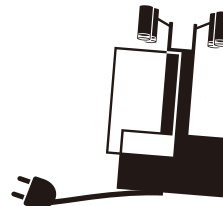
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることが
あります。



禁止

■ 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

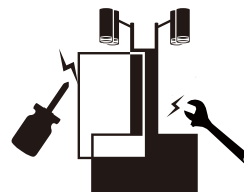
コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物を
のせてしまうことがあります。



禁止

■ 本書で指示のない箇所を分解したり、修理、改造はしない

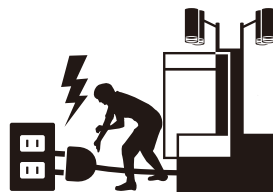
けがや故障、火災の原因となります。
修理はお買い求めの販売店にご連絡ください。



禁止

■ 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因となります。



接触禁止

⚠ 注意

■ お手入れの際は、アルコール、シンナーや洗剤などの薬品を使用しない

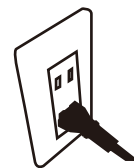
万一それらが付着した時は、十分に拭き取ってから
ご使用ください。



禁止

■ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して
火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



指示

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



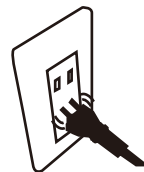
禁止

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

⚠ 注意

■ 電源プラグはゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

■ 他メーカーの消耗部品や容量の異なる部品の使用、または混用はしない

故障の原因となることがあります。



禁止

■ 本製品の組立て、設置、お手入れの仕方などは、本書の手順及び記載内容に従って行う

取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は責任を負いません。



指示

使用上のお願い 必ずお読みください

■ 免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■ 取扱いに関すること

- 本製品を落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えたりすると、割れや故障する恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
- 本製品を設置後、水が入った状態での本製品の移動はしないでください。必ず水を完全に抜ききってから移動してください。
- 本製品のライト部の通気口は塞がないでください。熱をもち、加熱による出火や故障の原因になります。
- 排出口カバー、サイフォンパイプ、オーバーフローパイプなどの排水口は狭くしたり、塞いだりしないでください。水の循環が悪くなることで、水槽から水が溢れ出たり、水質悪化や故障の原因になります。
- 水が入っていない状態でポンプを空運転させないでください。製品の損傷やポンプの故障の原因になります。

■ 置き場所に関すること

- 本製品は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。安定が悪いと転倒による破損や故障の原因になります。本製品を設置する場所は、本製品の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本製品が落下した場合に、けがや故障の原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

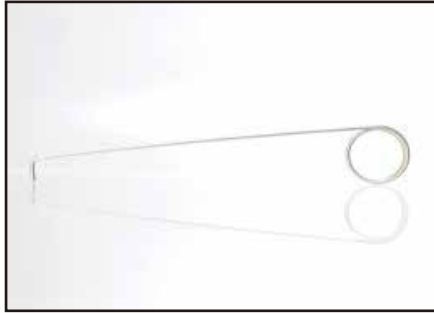
■ お手入れに関すること

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 水槽内の苔のお手入れにはメラミンスポンジや歯ブラシのような先端が柔らかいブラシ等で洗い落してください。その際、洗剤や石鹸等は使用しないでください。
- フィルターは2～4ヶ月に一度は取り換えてください。

■ 本 brio35 水槽を廃棄するとき

- 廃棄の際は、所在自治体の条例または規則にしたがってください。

付属品と各部の名称



植物根取り用ツール

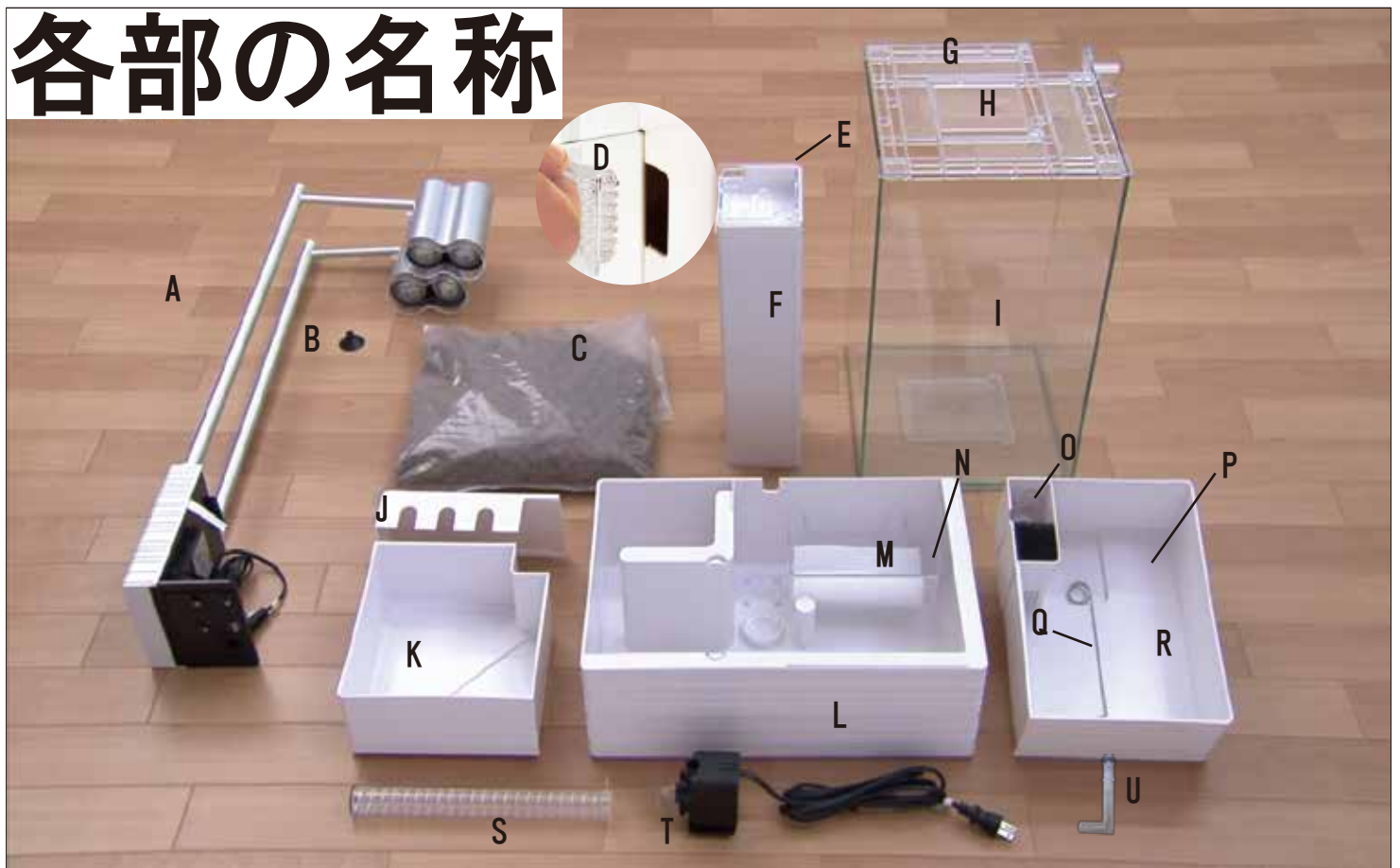


ハイドロコーン



電球脱着用吸盤

各部の名称



- | | | | |
|--------------------|------------|--------------|---------------|
| A. タイマー付
LEDライト | F. コラム | K. 水槽内バスケット | P. 粗目スポンジ |
| B. 電球脱着用吸盤 | G. 水槽用蓋 | L. ベースボックス | Q. 根取りツール |
| C. ハイドロコーン | H. 中央蓋 | M. フィルター | R. プランツバスケット |
| D. 排出口カバー | I. ガラス水槽 | N. フィルターボックス | S. オーバーフローパイプ |
| E. 上部カップ | J. バンブーカバー | O. サイフォンカバー | T. ポンプ |
| | | U. L字パイプ | |

設置・組立方法

1 ライトとベースボックスを設置する



ライトを垂直になるように支える。



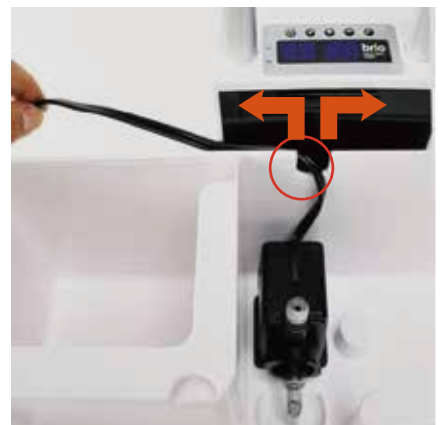
ライトを底板の上にベースボックスをセットします。
※ライトのベースの突起をベースボックスの穴にはめこんでください。



2 ポンプを組み立てて設置する

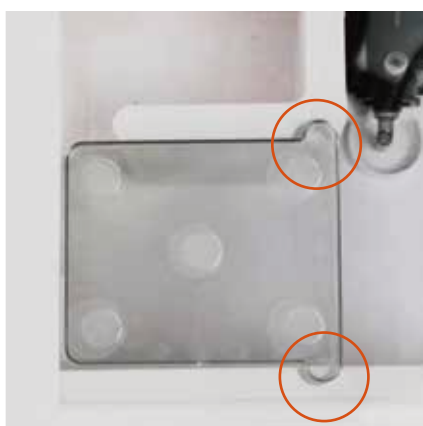


エルボーパイプが底面に対して垂直になるように取り付けてください。



ポンプの足をベースボックス内の4つのくぼみに合わせて所定の位置にセットしてください。電気コードは後側から左右どちら側でも良いので外へ出してください。

3 水槽を設置する



ベースボックスと水槽底面のガイドに合わせてきちんとはめこみ固定してください。

7. ※brio ロゴが正面に向くように設置してください。

設置・組立方法 つづき

4 オーバーフローパイプを取り付ける



水槽側面のパイプにオーバーフローパイプを上向きに差し込み取り付けます。Oリング下の2つのピンまで入るように差し込んでください。



差し込む際にオーバーフローパイプ下部の突出部が水槽側に向くようにしてください。



差し込んだ後、オーバーフローパイプを時計回りにストッパーの位置にくるまでまわして固定する。

5 水槽内バスケットを設置する



水槽内バスケットを水槽の右端奥に設置してください。



！重要
水槽内バスケットは必ず水槽の側面に密着させてください。

！ご注意

水槽内バスケットを設置の際は水槽の側面にぴったりとくっつけ、隙間がないように置いてください。隙間があると間に魚が入り込み下に落ちてしまう危険性があります。

6 コラムを設置する



コラムをホースが外に出るように切り込み部分をガラス面に合わせるようにかぶせて設置します。



コラム内に接続されているホースとポンプ上部の吐出口を接続します。

設置・組立方法 つづき

7 フィルターをセットする



フィルターポケット内のポケットにフィルターをセットします。



折り目に合わせて二つにたたみます。



折った面の小さい側を内側にしてフィルターポケットにセットします。

8 プランツバスケットを設置する



まず、プランツバスケットの裏面にL字パイプがきちんとはめ込まれているかを確認してください。brio35が機能する上でとても大切な部分になります。



フィルターボックスをベースボックス内に設置します。フィルターが内側になるように、ポンプ横所定の位置に設置してください。



プランツバスケットをベースボックス上部に置いてください。



サイフォンカバーを設置します。



プランツバスケットをスライドして閉めてください。

! ご注意

プランツバスケットを設置する際は、バスケットの両サイドの溝にレールがきちんとはまったことを確認してからタンク側にスライドさせて設置してください。

設置・組立方法 つづき

9 排出口カバーを取り付ける



コラムにある排出口に排出口カバーを取り付けます。



カバーの持ち手を上にして下部を押してきちんとはめこんでください。

！ ご注意

排出口カバーをきちんとはめこまないと使用時に外れる可能性があります。カバーが装着されていなければ魚が排出口からオーバーフローパイプ内に落ちて目詰まりの原因となります。目詰まりを起こすと、水槽から水が溢れる可能性があります。

10 上部カップ及び水槽蓋を取り付ける



コラム上部に上部カップを取り付けます。



水槽蓋を平らな面を上にして水槽上部に取り付けます。



中央蓋を平らな面を上にして持ち手を開口部の端にあわせて中央蓋を取り付けます。

11 バンブーカバーを取り付ける



ベースボックス裏面にバンブーカバーを取り付けます。



横にスライドさせながらきちんとはまるようにガイドをあわせてスライドさせながら最後まで押し込みます。

始動方法

1 ハイドロコーンをセットする



ハイドロコーンを水で2～3回洗ってください。



水で洗ったハイドロコーンをプランツバスケットにセットしてください。

！ ご注意

付属のハイドロコーン以外を使用された場合は、目詰まりなどの不具合が生じる可能性があります。

2 ソイル（別売）と水を投入する



水槽内バスケットにバスケットにいっぱいになるまで好みのソイルを投入します。



ソイルにキッチンペーパーをかぶせてその上にゆっくりと水を注ぎます。



次に、水槽の角を伝うように注いでください。



排出口から水が流れ出るまで注いでください。



プランツバスケットをスライドして開き、ベースボックスに水を入れてください。



ベースボックス内にある水位柱の天面まで水を入れてください。この天面を超えて水を入れるとサイフォン機能が停止する可能性があります。

始動方法 つづき

2 ソイル（別売）と水を投入する つづき



！ワンポイント

水槽底面にお好みの量の底床材を敷くと水槽内のゴミを吸着し溜めてくれるためお手入れもしやすくなります。

3 植物をセットする



土に植えられていた植物はプランターから取り出し、根の土を水で洗い落としてください。



根がハイドロコーンの中に全て埋まるようにセットしてください。



ハイドロカルチャーの観葉植物は吸水できる穴があるポットの場合はポットのままハイドロコーンの中に入れてください。高さの調整はハイドロコーンの量で行ってください。

！ご注意

ガラスや吸水穴のないポットに入っている植物はそのまま入れないでください。ガラスが割れたり、吸水ができない問題が発生します。植物のみ取り出してハイドロコーンの中に植えてください。



！ご注意

付属のハイドロコーンの粒の大きさ（1mm-2mm）より小さいハイドロコーンがポットに入っている場合はプランツバスケット内にこぼれ落ちると詰まりの原因になりますので、ポットから取り出して根についているハイドロコーンも取り除いてから入れてください。



始動方法 つづき

4 ポンプの電源を入れる



植物を植えて、ベースボックスに水が入っていることを確認してからポンプの電源を入れてください。



上部カップから水が出ているか、また水が漏れていないかを確認してください。

※スターターキット DX を購入していただいたお客様は弊社ホームページに植物、熱帯魚それぞれの設置方法を動画にてご紹介しております。

ライトのタイマーセット方法

工場出荷時の設定（初期設定）

プランツ用ライト 7:00 点灯 / 22:00 消灯（連続 15 時間点灯）
水槽用ライト 18:00 点灯 / 22:00 消灯（連続 4 時間点灯）

1 LED ライトの電源を入れる



LED ライトの電源を入れてください。



ライト後側に付いている絶縁テープを抜いてください。

！ ご注意

絶縁テープを抜かずにご使用になると、一度ライトの電源を抜いてしまうとタイマー時刻が全てリセットされてしまいます。

2 時刻を設定する



CLOCK ボタンを押してください。ボタンを押すと端にある A/M ボタンがそれぞれ緑 / 赤に点灯します。



＋ボタンを押して実際の時刻に合わせてください。



SET ボタンを押して時刻を確定してください。

3 タイマーを設定する



時刻の設定が完了すると、水槽側のライトが点灯します。まずは点灯開始時刻から設定します。＋ボタンを押して希望の時刻に合わせてください。



SET ボタンを押して点灯開始時刻を確定後、消灯時刻を同じようにセットしてください。水槽側の消灯時刻のセット完了後、プランツ側の点灯及び消灯時刻のタイマーセットが始まります。



最後に SET ボタンを押すと A ボタンが緑色に光り、ライトが自動タイマーモードに切り替わります。

ライトのタイマーセット方法 つづき

4 手動点灯 / 消灯の方法



ON/OFF ボタンを押してください。



M ボタンが点灯し、両方のライトが点灯します。



ON/OFF ボタンを再度押すと水槽側のライトのみが点灯します。



ON/OFF ボタンを再度押すとプランツ側のライトのみが点灯します。



ON/OFF ボタンを再度押すと両方のライトが点灯します。

再度 ON/OFF ボタンを押すとタイマーモードに変わります。
手動モードのままにしていた場合でも午前0時を過ぎると自動モードに切り替わります。

！ワンポイント

弊社ホームページの brio ページ内にタイマーセットの方法を動画にてご紹介しております。そちらも併せてご確認いただくとよりわかりやすくなります。

brío35 動画ページ URL; <http://www.bempartner.com/products/brío/movie/>

お手入れの方法

！ご注意

ポンプの電源を抜いてからお手入れを開始してください。ヒーターをご使用の際はヒーターの電源も抜いてください。

1 排出口のお手入れ

(魚などに餌を与える時に毎回確認し必要に応じてお手入れをするようにしてください。)



排出口カバーに水草などが詰まっている場合は取り除いてください。カバーを外した後はすぐに予備のカバーを付けてください。



排出口カバーは水で洗い流してください。エサや水草の汚れが付いている場合は歯ブラシなどでやさしくこすって落としてください。

！ご注意

排出口カバーが目詰まりすると、水が流れ落ちなくなり最終的に水が水槽から溢れます。

！ご注意

排出口カバーを取り外す時はすぐに予備のカバーを取り付けてください。開いたままにすると観賞魚が誤ってコラム内に落ちる危険性があります。

2 上部カップとコラム上部のお手入れ

(水を足す時に毎回確認し必要に応じてお手入れすることをおすすめします。)



上部カップを上によく持ち上げて取り外します。



カップ内に溜まっている水を水槽側に流し入れてください。(水が残ったままだと移動する際に水がこぼれてしまう為)



上部カップとコラム上部の汚れはメラミンスポンジ、または歯ブラシでやさしくこすって落としてください。

！ご注意

硬い用具で掃除すると、傷やくもりの原因になりますのでメラミンスポンジのような柔らかい用具でやさしくこすってお手入れをしてください。

お手入れの方法 つづき

3 サイフォン内のお手入れ

(水を足す時に毎回お手入れすることをおすすめします。)



プランツバスケットをスライドして開けてください。



サイフォンカバーを取り外し水で洗い流してください。その際カバー上面にある穴にゴミなどが詰まっていれば取り除いてください。またサイフォン中央の穴にも根が入り込んでいたりゴミが詰まっていないか確認しあれば取り除いてください。



サイフォン内に植物の根がからまっている場合はセットに付属されている根取りツールを使って取り除いてください。

！ ご注意

サイフォン内に根がからまったままですとサイフォン機能に不具合が生じる原因となります。

4 粗目スポンジとフィルターのお手入れ

(粗目スポンジは水を足す時に毎回お手入れすることをおすすめします。)
(フィルターの交換は2ヶ月～4カ月に1度交換することをおすすめします。)



粗目スポンジを取り出して、汚れは水で洗い流してください。



フィルターボックスをベースボックスから取り出してください。フィルターボックスの汚れは水で洗い落してください。



フィルターは汚れが気になるようであれば交換してください。

！ POINT プランツバスケットを取り外す際には下記の手順で行ってください。



①プランツバスケットをスライドさせてストッパーに引っかかるまで開けます。その後バスケットをゆっくりと持ち上げてください。



②奥側にサイフォン部分が低くなるように傾けて水を流してください。

③その後バスケットをゆっくりと反対側に傾けてバスケット下に付いているL字パイプに残っている水を抜いてください。



お手入れの方法 つづき

5 ポンプのお手入れ

(6ヶ月に1度はお手入れすることをおすすめします)



吸水用エルボーパイプを取り外しパイプの中身をそうじします。



インペラー（羽根車）を時計回りにまわしてガイドから外れるまでまわして取り外します。



インペラーを取り外したら、インペラーとポンプ内も水で洗い流してそうじしてください。



そうじが終わったらインペラーを反時計回りにまわしてロックガイドまで取り付けてください。

！ご注意

インペラーの磁石部分や白いセラミック棒は割れたり、壊れやすくなっていますのでお手入れの際のお取り扱いには注意をしてください。

6 水槽内のお手入れ

(水を足す時に毎回お手入れすることをおすすめします。)



水槽のガラス面が汚れている場合はメラミンスポンジを使用しやさしくこするときれいに汚れが落ちます。



ガラスの角の部分や水槽内バスケットの溝は歯ブラシなどの先端が柔らかいブラシを使用して汚れを落としてください。

！ご注意

水槽内バスケットの溝のお掃除をする際にはバスケットが元の位置からずれないように気をつけてください。水槽内バスケットの位置がずれることによりコラムとの間に隙間ができ、観賞魚が隙間から入り込んで死ぬ恐れがあります。

電球脱着の方法

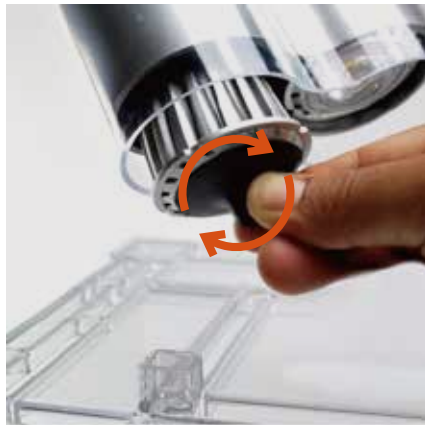
！ご注意

必ずライトの電源を抜いてから作業を始めてください。

1 電球を取り付ける



電球専用の吸盤を電球のレンズに付けてください。



電球を電球カバー内のソケットに接続します。時計回りにまわしていき最後までまわり終わるまでしっかりとまわします。



取り付け後は強く引っ張らずにゆっくりと吸盤を外してください。

！ご注意

電球が水槽の中に落ちるのを防ぐために水槽用蓋と中央蓋どちらもセットしておいてください。

2 電球を取り外す



取り外す時は電球の熱が冷めるまでお待ちください。吸盤を電球レンズに付けて反時計回りにまわしてください。



取り外しが終わった後は吸盤をレンズから外してください。

困ったときは

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因）	対処方法
上部カップから湧き出る水流が弱くなる。 出なくなる。 異常音がする。	ベースボックス内の水量が少なくなっている。	ベースボックス内の水量を確認し少なくなっていれば水を水位計の“max”まで追加してください。
	プランツバスケットを開けて給水した際にポンプが空気を吸い込んで一時停止状態になっている。	ポンプの電源をコンセントから一度抜き、2～3秒待ってから再度さしてください。
	吸水用エルボーパイプにゴミが詰まっている。	吸水用エルボーパイプを外してゴミの詰まりなどを取り除いてください。その際にポンプのインペラ部分も取り外しポンプごとそうじをしてください。
水槽内に苔が育つ。 育つスピードが早い。	ライトの点灯時間が長過ぎる。	タイマーでライトの点灯時間を減らしてください。1日に1～2時間程度の点灯時間に設定してください。また水槽側のライトをプランツ側に移動させて水槽に直接光が当たらないようにしてください。
	水槽のアンモニア値が高くなっている。	水槽のアンモニア値を調べて、通常より高い数値がでた場合は水槽の水の内1/3分を水換えしてください。
	水温や室温が高くなっている。	日当たりが良い場所に設置されている場合はヒーターで水温調節していても、水温が上がっている場合があります。ヒーターの温度を24度ぐらいに設定し、水温が26度を超えないようにしてください。
	エサを与え過ぎている。	1度に与えるエサの量が多過ぎると、食べ残しや魚の糞が増えるため水中で苔が発生しやすくなります。2日に1度のペースで魚が食べきる量を与えてください。
プランツバスケットから水が溢れてきた。	サイフォン内に植物の根が絡まっている。	サイフォンカバーを取り外して、サイフォン内に根が絡まっていないかを確認してください。根が絡まっていれば、付属されている専用のツールで取り除いてください。
ガラス水槽から水が溢れてきた。	排出口にゴミが詰まっている。	排出口カバーを取り外し、水草やゴミを水で洗い流してください。その際、魚が排出口から落ちるのを防ぐため、必ず予備の排出口カバーを取り付けてください。
	オーバーフローパイプにゴミが詰まっている。	ポンプの電源を抜いてから、コラム下につながるパイプとポンプを取り外し、オーバーフローパイプに何か詰まっていないかを確認してください。詰まっていれば、取り除き再度ポンプと接続し通常に作動するかを確認してください。
水槽内の水が濁っている。	ハイドロコーンを洗わず使用している。または、洗いが足りない。	ハイドロコーンをやさしく、しっかり洗ってください。
	水槽内に流木などのアクが出る装飾を行っている。	流木のアク抜きをしてください。 ※それでも水の濁りが取れない場合は、1度1/3程度の水換えをしてください。

困ったときはっづき

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因）	対処方法
プランツバスケット内に水が回っていない。 水位が上下していない。	粗目スポンジにゴミが溜まっており、水路が詰まっている。	粗目スポンジを取り出し水洗いし、ゴミを取り除いてください。
	サイフォン機能が稼働していない。	・サイフォンカバー内にゴミが溜まっていないかを確認し、あれば取り除いてください。 ・プランツバスケット下に取り付けてあるシ字パイプがきちんと奥まで差し込まれているかを確認し、ぐらついていればしっかりと差し込んでください。 ※この作業は水がこぼれる可能性がありますのでバケツなどを用意して行ってください。

・適切な処置を行っても症状が改善されなときや、同じ症状が再発する場合、または上記以外の症状が発生したり、原因がわからないときはご使用を止めてお買い求めの販売店までご連絡ください。

！ワンポイント

弊社ホームページの brio ページ内の「よくあるご質問」でも上記以外の様々な事例を記載しておりますので、併せてご確認ください。

仕様

製品名	brio35
定格電源	AC 100V
定格周波数	50Hz / 60Hz
定格消費電力	9.1W / 6.6W
流量（ポンプ能力値）	400ℓ/h
LED 電球電圧	AC 100V 50Hz/60Hz（共用）
LED 電球消費電力	6W/個 x 4個 = 合計 24W

brio₃₅別売アクセサリ

<brio35 専用キャビネット>



希望小売価格：39,800円（税別）

<brio35 専用バキュームクリーナー>



希望小売価格：2,980円（税別）

<brio35 専用LED電球>



希望小売価格：3,980円（税別）

<brio35 専用交換用フィルター>



希望小売価格：1,980円（税別）

保証について

br io35 には下記の保証規定を設けています。

お買い上げいただいた日から、1年間を保証期間としこの期間内に正常な使用において故障、および損傷が発生した場合は、本保証書の記載内容にもとづいて無償修理をいたします。

なお、LED 電球、植物用ハイドロコーン、フィルターなどの消耗部品の摩耗や劣化、お客様の過失による製品の割れおよび傷は保証の対象外になります。

保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。

1. 誤った組立て、取り付けによる故障、および損傷
2. ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷
3. 不当な修理や改造による故障、および損傷
4. 日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷
5. 砂や異物の吸い込みによる故障、および損傷
6. 家庭以外（船舶や車両などへの搭載）で使用されたことによる故障、および損傷
7. 屋外で使用したことによる故障、および損傷
8. 異常水質による故障、および損傷
9. 指定以外の電源（電圧、周波数）による故障、および損傷
10. 火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地変による故障、および損傷
11. 魚類など生体の死亡や病気、植物および水草の枯れ
12. 本保証書の提示がない場合
13. 本保証書にお客様名、お買い上げ日、お買い上げ時のレシート、販売店名の記入がない場合
14. 本保証書の字句を書き換えられた場合

レシート及び本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本保証書は、本保証書に明示した期間と条件のもとに修理をお約束するものです。したがって、保証期間経過後に発生した不良については有料修理となります。当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は製品の修理、交換のときの製品発送のみに使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することはございません。

保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。

保証期間終了後の修理につきましては、お買い求めの販売店までご連絡ください。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN

この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※製品の改良又は、その他諸事により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

brioTM 保証書

35

製品名	brio35
-----	--------

保証期間	本体：お買い上げ年月日 平成 年 月 日より1年間	
お客様	お名前	
	ご住所	
	お電話	

販売店	
-----	--

※本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は製品の修理、交換のときの製品発送のみに使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することはありません。



株式会社ベムパートナー

〒578-0904 大阪府東大阪市吉原1丁目4-22

電話：072-962-9666 FAX 072-962-9665

HP：www.bempartner.com